

住宅改良資金を融資します

府の住宅改良資金融資制度が発足

お申し込み手続きは早めに

府では、こども新しく住宅改良資金融資制度を発足し、申込みを受けています。

この融資制度は、自分の居住する住宅に改良を加えて住みやすく、使いやすくするため、増築や修繕などの改良工事をしようとする場合に、必要な資金を長期、低利で融資することにより、住環境の改善の促進をはかることを目的として、設けられたものです。

融資の要領はつきのとおりです

一、利用のできる人
京都府下に在住し、自分の居住している住宅の増築や修繕をする人。

・収入が年二百五十万円以下の人(給与所得者)、事業所得者(純利益が年二百万円以下)。
・現在この融資制度による資金の融資を受けていない人。

二、融資が受けられる工事
増築—家族構成からみて、狭くて小さな住宅などにこども、幼弱部、老人の居室、浴室などの増築や台所の拡張などをすするため、居住部分の床面積を増加する工事、または非居住部分を居住部分に、もつ替える工事。
修繕—増築、改築以外の工事で、住宅の安全上、衛生上耐久上、または居住性向上のため必要な工事(部分改築を含む)。借家の修繕工事は申込み窓口で相談してください。

三、対象住宅の規模、規格
増築後の居住部分の床面積が三〇平方メートル、二〇平方メートルの範囲であること。

四、融資額
増築 十万円単位で五十万円まで。
修繕 十万円単位で三十万円まで。

五、融資の条件
利率—年六分五厘
償還期限
増築—十年以内(元利均等月賦償還)
修繕—七年以内(元利均等月賦償還)
保証人—一名の連帯保証人(府内に居住する人で申込み)

教育資金づくり

郵便 学資保険のご加入を

郵便局では、こども新しくお子さんの将来のための教育資金づくりとしての「学資保険」の、加入申込みを受けています。

この学資保険は、「十五歳満期」の高校型と「二十八歳満期」の大学型とがあり、こどもが中学三年高校三年卒業、進学の学費納入にまにあうようセレクトされています。

おれは、障害年金や母子年金などを受けることによって安定した生活ができます。

この国民年金に加入できる人は他の公的年金制度に加入していない二十歳から五十九歳までの人をその加入対象者としています。

二十歳になって国民年金に当然加入しなければならぬ人は、い

よ、任意に加入できる人は、います。国民年金加入の手続きを、役場民生課年金係でおすませください。

人と同等以上の収入を有する()
六、申込場所
役場民生課(申込書用紙は備え付けてあります)

七、申込受付期間
昭和四十七年三月三十一日まで
なお、その他くわしくは、役場民生課までお問い合わせください。

入居期間にわたって「教育問題に関する世論調査」により、こどもを四年制の大学まで進学させたい、と答えた親が、全体の五二パーセントもあり、また労働者の調査では、主婦の三人に二人がこどもの学資のために、パートタイムで働くという結果が出ました。明るく、強く、希望にあふれた未来を築く、こどもの将来に備えて、教育資金づくりの手始めとしてのこの学資保険に加入しよう。くわしくは郵便局まで。



野ねずみを一斉駆除
ご協力ください

野ねずみの一斉駆除を実施します。これは向日町農協の主催によるもので、野ねずみ駆除の実施の際、危険が伴います。この危険防止チラシを町(産業経済課)も協力して、一般家庭に配布しますから、ご協力をお願いします。

(配布日)上福野区二月二日、鶴冠井区三日、森本区四日、寺戸区七日、物集女区八日(なお、向日区、向日台、寺戸区大牧は除く)

編集室から



向日町 広報

「注意」一週間ほどは、犬、ねこが死んだねずみを食べないよう、またお子さんがねずみを食べないよう、ご注意ください。

新しい年を迎え、わたしたちは新しい生活計画を立て、新しい希望の出発点としたいものです。さて、これから三月いっぱい、寒さもきびしくなりますから、ぜひ節度のある家庭生活を送ってください。

一月十五日は成人の日でした。この日は、全国各地で二十歳になった人びとを祝う成人式が盛大に催されました。

二十歳になると、その日から成人としての多くの権利が与えられ義務が課せられますが、国民年金に加入することもその一つです。

国民年金制度は、年をとったりけがをしたり、一家の働き手が死亡したりしたときに、本人やその家族の生活を保障しようとする制度です。

二十歳になると、国民年金に当

二十歳で国民年金の加入を 成人と国民年金

ついて知りたいという人たちが、どんなことをしています。

一方において、まだ未成年に對する意識が薄らいっていますが、個人の老後の設計は、青年期からは

近のあわただしい生活では、いつどんな事故にあうかわかりません。また事故が起きてからでは間にあいません。このような突然の事故

にあって、国民年金に加入して